

フローチャートで『B』『C』『D』となった方の、第3子以降の加算についての申立書になります。
記載例

児童手当に係る監護相当・生計費の負担についての確認書
(第3子以降加算算定児童に係る申立)

↓提出または郵送される日を記入

令和 年 月 日

①申立人は、児童手当の受給者について記入してください。
電話番号は、日中連絡がつく電話番号を記入してください。

① 【申立人】(児童手当の請求者・受給者)

住所 多気町

ふりがな

氏名

生年月日 昭和・平成 年 月 日

電話番号

私は、以下に記載する者(18歳に達する日以後の最初の3月31日を経過した後から22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者)について、監護に相当する日常生活上の世話及び必要な保護をし、かつ、その生計費を負担していること(注1)(以下「監護相当・生計費の負担」という。)を下記のとおり申し立てます。記載内容について下記のとおり相違ありません。
申立てが真正であることの証明を求められた場合は、関係する書類を提出します。また、状況に変更が生じたときは随時変更の申立をいたします。

注1 当該者があなたの収入により日常生活上の全部又は一部を営んでおり、かつ、これを欠くと通常の生活水準を維持することができない場合

記

ふりがな 氏名	生年月日	住所(住民票上のもの)					
②	平成 年 月 日	☐ 児童手当の請求者・受給者と同じ					
1	個人番号	続柄	職業等(いずれかに○)	通学先(学生の場合のみ)	卒業予定時期(学生の場合のみ)	申立人による監護相当の状況(いずれかに○)	申立人による生計費の負担の状況(該当するものすべてに○)
			学生・無職・その他 ※学生はアルバイト等をしている学生も含む		令和 年 月	1.同居し、日常生活上の世話・必要な保護をしている 2.別居しているが、定期的な連絡・面会等をしており、 監護相当である 3.その他()	1.生活費(食費、家賃等) 2.学費 3.その他()

- ②大学生年代(平成14年4月2日～平成18年4月1日生まれ)の方すべて記載してください。
- ・続柄・・・受給者から見ての関係
 - ・職業等・・・学生でアルバイトをされている場合は学生を○、就労されている場合はその他に○
 - ・通学先・・・(学生のみ)学校名を記入
 - ・卒業予定時期・・・(学生のみ)現在予定の卒業年月を記入
 - ・申立人による監護相当の状況・・・同居し、日常生活上の世話等をしている場合 1
別居しているが、定期的な連絡・面会を行っている 2
上記以外 3 (カッコ内に状況を記入)
 - ・申立人による生計費負担の状況・・・生活費(食費等)や学費を負担 1又は2
上記以外 3 (カッコ内に状況を記入)

『監護相当』及び『生計費負担』が、すべて『1』又は『2』の状況の場合第3子以降の加算対象となります。